

先頃は母の日。お母さんに日頃の感謝を伝えられましたか？

そして、6月の第3日曜日は「父の日」。今年は6月18日(日)です。父の日は、1909年のアメリカで、6人の子を育て上げたシングルファーザーを敬愛する末娘が、「母の日があるなら父の日も」と、牧師協会に嘆願したことが始まりなのだそう。母の日もアメリカ発祥ですね。アメリカでは父の日に白いバラを贈る風習がありますが、日本では黄色がシンボルカラーになり、黄色いバラやヒマワリなどを贈る人も多いですね。普段はなかなか伝えられない感謝の気持ちを、お父さんに伝えてみませんか？もちろん、お父さんの大好きなお酒やお菓子なども大いに喜ばれる事でしょう。ちなみに著者はバーボンをロックでチビチビ飲む事が好きです。(^^;)



アナログからデジタルになってよかったこと

No. 4 金属仕上 Y

私が入社して10年以上は、複模型を起しパターンを取ったものをスプリングして埋没し、その埋没材をファーンネスに入れ、鑄造し掘り出しをして研磨して、フレームを艶出ししていた。

私の仕事は、埋没したものを鑄造し研磨する担当だった。自分自身の力不足もありましたけど、その頃は研磨に時間が掛かっていた。全体のバランスもそうだが、細部の研磨などに特に時間が掛かっていた。それに部署内の品質を均一にするために、バレル研磨なども使用して品質の安定を図っていた。

しかし、CAD/CAMの導入をきっかけに仕事の効率が一変した。埋没したリングの焼却時間が短くなり、鑄造体も綺麗で、細部も綺麗なので本当に研磨の効率が良くなった。

設計の人たちやデザインした人も、苦勞して今のフレームの形、クラスプの形があるので、自分たちも丁寧に良い製品、先生方・患者様に喜んでもらえる製品を、作っていきたいと思います。

梅雨



作 スタジオ I

6月に入ると梅雨の時期に入り、雨が降る日が多くなり外にも出掛け辛い日々が続きますが、6月から7月に降る雨の時期になぜ「梅」の字が使われているのか？

いろいろな説があるようですが、1つの説としては、梅の実が大きくなる為には雨が必要で、6月初め頃はまだ実が硬くても、6月終わり頃には大きくなって収穫が出来るようになり、大きくなった梅の実が熟して潰れる時期でもある事から「梅」が潰れる時期の「雨」という事で「梅雨」になったようです。

雨に濡れて光るアジサイの花も、この時期にしが見れないので、雨が降った楽しみを見つけるのも、また良いのかも知れないですね。

特集 ご存知？ 恐怖！ 公共の充電スポットに罠 ジュースジャッキング

空港やホテル、ショッピングセンターに設置されている無料の充電スポットを利用する際には、その危険を知った上で使うべきとFBIからの警告です。公共のUSB充電スポットにはリスクのあることがかなり前から指摘されている。こういったリスクの中には「ジュースジャッキング攻撃」という名前まで付けられている攻撃もあり、それを防ぐためのUSBブロッカーという通称の Dongle も販売されている。しかし今回、米連邦捜査局(FBI)は、**怪しげな無料充電スポットは利用すべきではない**という警告を発した。

問題を解決する最善の方法は、充電する際、公共の充電スポットを利用しないこと。しかし、そうも言ってもらえない場合のために、個人情報に危険にさらさずにバッテリーを充電する代替手段を次に紹介する。

1つ目は外付けのモバイルバッテリーを携帯すること。バッテリーを充電するだけであれば、充電スポットを利用してもデータやセキュリティは危険にさらされない。その後、そのモバイルバッテリーからスマートフォンやノートPCなどを充電すればいい。

もう1つは、USBブロッカーという Dongle を介して充電すること。USBブロッカーを、個人のデバイスと充電スポットの間に挟むことで、この Dongle がモバイルバッテリーのような役割を果たすようになる。

これは一般的なUSBケーブルとは異なり、データのやり取りのための配線が意図的に除去されている。このため充電用ケーブルに接続するだけで、充電スポットとデバイスの間のデータのやり取りを物理的に阻止できるようになる。

ほとんどのデータブロッカー製品は、アダプティブ充電機能に対応しているため、バッテリーへの負荷を心配する必要はない。重要な点は、不安を感じる充電スポットと自分のデバイスを直接接続しないようにすることだ。と記されている。

実に恐ろしい、便利と背中合わせの世の中である。



<https://studio-taico.co.jp/>



※当「The Dental  Journal

緊急告知!!



先日、男性ロッカー内ゴミ箱に、ペットボトル飲料の空ボトルが入っていました。当社ではペットボトルは「各自で処分」のルールでありますので会社内では、ペットボトルをゴミとして処理は出来ません。各自の責任において必ず持ち帰り処分願います。



taico@studio-taico.co.jp

※ご意見・ご要望はメールでも受付けております。

」は、上記HPでも掲載、機関紙として過去分を含めお読み戴けます。